

第43回 2022 日本 BtoB 広告賞の 最優秀賞「経済産業大臣賞」受賞のお知らせ

この度、当社が昨年7月26日、8月3日の2週にわたり日本経済新聞 朝刊に掲載したシリーズ広告が第43回 2022 日本 BtoB 広告賞の最優秀賞である「**経済産業大臣賞**」を受賞いたしましたので、お知らせいたします。

今回の広告では、「**なくてはならないインフラだからこそ、なくてはならない環境対策がある。**」というタイトルで、アスファルト舗装分野において、長寿命化とリサイクルの促進によって CO2 の削減に取り組む当社の技術開発の姿勢を表現しました。

当社は今回の受賞を糧に、持続可能な社会につながる「道」創りを通して皆様から信頼され必要とされ続ける企業を目指して、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。

受賞広告につきましては次ページをご覧ください。

※ 日本 BtoB 広告賞は 1980 年にスタートした BtoB 広告の普及・振興を目的としたコンテストです。今回は 2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までに制作・掲載された BtoB コミュニケーションツールから、全 13 部門に応募のあった総数 279 点が審査対象となりました。企業コミュニケーション活動や制作にかかわる総合技術などの観点から、有識者による選考が行われます。最優秀賞である経済産業大臣賞は上記各部門の金賞作品の中から 1 点が決定されるものです。

なお、今回の表彰式は 6 月 2 日に行われる予定です。

(第43回 2022 日本 BtoB 広告賞 : <http://www.bbaa.or.jp/jigyo/sogo/2022sogof.html>)

<受賞広告>

このアスファルトは、
“長寿の国”の発明だ。

のしかかる重圧やストレスを、
しなやかに受け止める。
アスファルト舗装長寿の秘訣は、
そこにありました。

たくさんのトラックやクルマが行き交う道路には、日々大きな負荷がかかっています。頻りに叩かれや亀裂が入ると修繕工事もしなければなりません。しかし、修繕に工事が行われるとCO₂排出量の増加につながり、環境化にも逆行します。そこで、寿命に長く寿命が長い舗装を実現するアスファルトの技術を模索。常盤にとらわれない新たな発想でゼロから材料を創し、ニチレキの技術を駆使しました。そしてたどりついたのが、<ニチレキアスファルト>です。この製法は「しなま」ことで道路にかかる負荷を和らげ、歩みにくい道路を創ります。これにより、従来の約2倍もの舗装長寿命化に成功しました。人にとっての健康長寿の秘訣は、ストレスをできる限り抑えたい。心が保たれることです。舗装の上での長寿の秘訣は、ストレスをできるだけ少なく受け止めることにあると私たちは、思いを馳せました。工面にやさしさとその秘訣の創りも、歩道にも人にもやさしい道路。ニチレキは、これからも持続可能な社会につながる道を創り続けます。

なくってはならないインフラだからこそ、
しなくてはならない環境対策がある。

未知に挑み、「道」を創る。
NICHIREKI 株式会社
〒109-8072 東京都千代田区千代田4-1-191 <https://www.nichireki.co.jp/>

このアスファルトは、
“森林の国”の発明だ。

間伐材や倒木をアスファルト舗装に
利用。リサイクルの促進とCO₂の削減で、
人と自然にやさしい道を創り続ける
ニチレキです。

日本の国土の約70%を占める森林は、人の社会経済活動によって排出される二酸化炭素(CO₂)を吸収して(ある程度)存在しています。こうした森林の持つ機能をいかに活かしていくかは、私たちには重要な課題です。そんな思いから生まれたのがアスファルト舗装です。この舗装では、間伐材や倒木をチップとしてアスファルトに見直し活用。舗装材としてリサイクル。これまで廃材処分されていた木材を有効活用することで、CO₂の削減につながります。さらに、アスファルト舗装による舗装はタフな舗装と環境性に優れているため、道にやさしく、おたよりができていくという特長があります。また、周囲の自然に溶け込むようなデザインが、人々の心を癒し、すでに各地の遊歩道などに採用されています。よさとの森の木に、上るよとの道をつなげる。お年寄りから子供までみんなが歩くやさしい道。人と自然との共生を大切にしたいために、ニチレキはこれからも持続可能な社会につながる道を創り続けます。

なくってはならないインフラだからこそ、
しなくてはならない環境対策がある。

未知に挑み、「道」を創る。
NICHIREKI 株式会社
〒109-8072 東京都千代田区千代田4-1-191 <https://www.nichireki.co.jp/>

上から 2021年7月26日、8月3日掲載分(日本経済新聞 朝刊 全30段・カラー)

以上